

入れ歯のはじまり

我が国の入れ歯の歴史はヨーロッパより200年も早く、
16世紀半ばには「噛める総入れ歯」が実用化していました。
ツゲの木などを彫刻して仕上げた「木入れ歯」です。

日本に残っているいちばん古い入れ歯は木製で、「中岡泰（通称：仏姫）」という尼僧が使っていたものです。
室町時代には入れ歯が普及していたことがうかがわれます。

ちなみに、この入れ歯はX線解析と赤外線分析でお歯黒が施されていたことが判明しています。
この職人芸的な「木入れ歯」は、明治時代まで用いられます。

最初は仏師の片手間の仕事から始まりましたが、

江戸時代には「入れ歯師」と呼ばれる専門職業として定着しました。

今の歯科技工の始まりです。



材料はツゲが一番とされ、中でも伊豆七島のホンツゲが最高級品とされていました。

江戸中期には、入れ歯師が自宅まで来てくれますが、あごの型を探って持ち帰り、

もう一度度合せをして仕上げていく過程は、現代とそれほど変わっていません。

木床義歯の材料となった木は「ツゲ」や「梅」、「黒柿」で、いちばん良い材料は「ツゲ」とされていました。

顎の型は、ミツバチのお腹から分泌した巣を構成するロウを精製した「密ろう」や

松ヤニを混ぜたもので取っていたようで、材料こそ違うものの現代に近い過程と言えます。

また、食紅を使って入れ歯の当り具合をチェックしたり、

当たって痛い部分を少しづつ削って直したりしながら仕上げていきました。

明治時代のはじめ頃までは、この木床義歯が使われていたようです。

明治以降に西洋から伝わったゴム製の入れ歯が伝わり、

昭和のはじめには「アクリル系の樹脂」がドイツから伝わってきたことで、入れ歯は大きな進化を遂げました。



■入れ歯の「歯」には驚きの素材も使われていた！？

入れ歯の「歯」の部分には、ロウのように半透明でやわらかい「ロウ石」や動物の骨のほか、象牙や人間の歯も使われ、人工の歯が作られ、はめこまれていたようです。

人間の歯…！一体、誰の歯を使用するのでしょうか…？



○松山○

◆発行元

泉MK歯科クリニック

TEL 022-373-0020
FAX 022-373-0040

◆診療時間
月・水・木・金・土曜日
9:00~19:00
(日休み 13:00~15:00)
日曜日
9:00~13:00
◆休診日
火・祝祭日



青葉MK歯科

TEL/FAX
022-261-9047

◆診療時間
月・水・木・金曜日
9:00~18:30
(日休み 13:00~14:30)
土曜日
9:00~13:00
◆休診日
火・日・祝祭日



ホワイトニングについて

今回はホワイトニングの種類についてお話ししていきます！



●ホワイトニングの種類



【オフィスホワイトニング】

歯医者で行うホワイトニングです。

高濃度の薬剤を使って行うので漂白効果がとても高いです。

メリット： 短時間で白くなる

デメリット： 歯に負担がかかりやすく、しみる症状が出ることがある
色の後戻りが早い



【ホームホワイトニング】

自宅で行うホワイトニングです。

マウスピースを製作してそこに薬剤を塗布し、1日数時間装着します。

それを2週間続けます。

メリット： 歯に負担がかかりにくい

デメリット： 白くなるまで時間がかかる



【デュアルホワイトニング】

オフィスホワイトニングとホームホワイトニングを併用する方法です。

メリット： 短時間で白くなる

後戻りが少ない

デメリット： 歯に負担がかかりやすく、しみる症状がやすい

ご興味のある方はスタッフにお声がけください！

M
K
歯
科
新
聞

2022
秋号
VOL. 44



○佐藤(雪)○

性格の恒常性と変化

現代の性格理論の多くは、個人の性格が青年期の終わりにはほぼ完成されて安定すると考えられているそうです。

安定した性格構造ができあがるとそれ自体が変化に抵抗し、安定性を保とうとする働きが現れることが認められています。

フロイトの抵抗の概念、ロジャーズの防衛性の概念、サリバンの安定操作の概念などはこのことを意味しています。抵抗とは、個人が意識化したくない無意識的な衝動・欲求・感情・葛藤が意識化されそうになったとき、

それらが意識に入り込んでくるのを回避しようとする防衛本能です。

防衛性とは、攻撃に対して防ぎ守ることです。

安定操作とは、危機を回避したいということです。

性格を変えるということは難しいことみたいですね。



○目黒○